

Expectancy Theory による 観光モチベーションの研究(Ⅱ)^{(a)(b)}

— Negative Outcome の分類を中心に —

An Empirical Study of Motivation to Travel by Expectancy Theory Model (Ⅱ)

— An Analysis of Negative Outcomes —

香 川 眞¹⁾

Makoto KAGAWA

1. はじめに

余暇を楽しむための条件として、金と時間は必須の条件である。昭和30年代後半からのレジャーの浸透が、家事から解放された主婦とアルバイトによって金をもった学生から、まず始まったことをみれば、余暇が一般大衆のものとなるにあたっては、自由裁量所得および自由裁量時間の増大が、その前提条件であったことは疑い得ない。この事情は、余暇の一つである「観光」についてもまったく同様であろう。

しかしながら、こうした条件は、それが一般に充足されていない場合には、観光行動の規定要因として大きく作用したであろうが、一般大衆が、共通にある程度以上の時間と金をもつにいたった現在、これらをもつ観光行動に対する説明変数としての比重は、その重みを大はばに減じつつあると見るのが妥当ではないだろうか⁽¹⁾。

では、何故、ある人は観光をし、ある人は観光をしないのであろうか。われわれは、観光行動を理解、説明、予測するに際し、いかなる説明変数を用意すればいいのだろうか。

行動論的、ないしは心理学的観点からいえば、従属変数としての観光行動は、金や時間などの外生変数、ならびに、観光へのモチベーションなどの内生変数によって説明されるとするのが、一般である。ところで、一般大衆において、自由裁量時間や自由裁量所得がまだ充分でなく、それらを持てるごく一部の人々によってのみ、観光が享受されている場合には、金や時間などの外生変数は、たしかに、観光

* 昭和55年2月22日原稿受理

1) 大阪産業大学経営学部

(a) 本研究は、昭和53年度大阪産業大学産業研究所特別研究費の援助を受けて行なわれた。成果の一部は、すでに「Expectancy Theory による観光モチベーションの研究(Ⅰ)」として、大阪産業大学産業研究所所報第2号(1979年3月)に報告済みである。

(b) 本論文作成にあたっては、筆者のゼミのメンバーである森口修吉、渋谷正吉、柳楽英己、および寺戸一雄、中西栄、弘田孝敏、竹川敏幸の諸君の協力が大であった。感謝の意を表するものである。上記諸君らは、本調査研究の結果をふまえて、さらに発展的な実証研究を卒業論文としてまとめつつあり、その成果が期待されている。

(i) 前田〔1970*〕においては、「条件が整うに従って選択行動の一つとして、観光行動がとられる可能性が増大してきた」との説明がされている。

の説明変数として大きな比重をもつ。たとえばある個人において、もし観光へのモチベーションが高いとしても、金や時間の条件が満たされていなければ、観光行動は成り立たないからである。

しかし、いまや、あきらかに金や時間などの外生変数は、一般大衆にとって一般化、平均化の方向に向っている。観光は、むしろ、モチベーションなどの内生変数によって説明すべき段階にきているとみることができるわけである。また、そうしなければ、今日の観光行動のメカニズムを明らかにしえないことも当然であろう⁽²⁾。

2. 本稿の目的

本論文は、本誌前号記載「Expectancy Theory による観光モチベーションの研究 (I)」につづくものであり、1978年に実施された「観光行動調査」において得られたデータのうち、Negative Outcome に関する部分について分析せんとするものである⁽³⁾。

前論文では、動機づけの期待理論の観光行動への適用可能性の吟味ならびに、Positive Outcome の分類と吟味についてふれたので、本論文では Negative Outcome の分類および分析結果を提示し、若干の考察を加えることとする。

前号にひきつづいたこうした作業が、観光行動の心理的メカニズムを、とくに動機づけ(モチベーション)の観点から解明するための基礎作業であることはいままでもない。また、以下に扱う $V(\cdot)$ 、 $I(\cdot)$ 、 $I(\cdot) \times V(\cdot)$ の諸変数についての基本的概念については、前号記載論文を参照されたい⁽⁴⁾。

なお、同調査の概要、および、Negative Outcome に関する質問手続きを再掲すれば、表 2・1、図 2・1 の如くであった。

表 2・1 調査の概要

目的	観光動機の内容分析と、観光へのモチベーションの測定可能性の吟味。
対象	大学生145名。男子139名、女子6名。
期日	1978年7月。夏期休暇に入る直前に実施。
方法	集合調査法。

本稿では、このうち男子大学生のデータのみを扱った。男子139名中、75名は今後1ヶ月の間に観光旅行の計画がある者、64名は計画がない者であった。

- (2) 前田〔1971〕においては、「観光に何を期待しているのか、どのような旅行を望んでいるか、などに関する調査研究はみられるにもかかわらず、観光そのものをどうとらえているか、どのようなイメージをもっているか、についての資料はほとんどみることができない」との指摘がある。筆者のみるかぎり、「人がなぜ観光をするのか」についての資料もほとんどなく、観光動機研究もまた、観光研究の中で立ち遅れている領域といえよう。
- (3) 同調査については、前号に記載された論文(香川〔1979^a〕)の他に観光学会での発表(香川〔1978^b〕)がある。
- (4) 香川〔1979^a〕の他に、香川〔1979^b〕、香川〔1978^b〕、Lawler〔1971〕、Vroom〔1964〕もあわせて、参照されたい。

小林〔1978〕においては、余暇行動と達成動機との関連が吟味されており、内生変数によって観光行動を説明する試みに1つの示唆を与えている。

図2・1 Negative Outcome の質問手続き

観光旅行をとおして得られる
(好ましくない体験)には、ど
んなものが考えられますか？
5つあげて下さい。

左記の体験は、あなたに
とって、どれくらい好ま
しくないことですか？
10点満点でお答え下さい。

観光旅行をとおして、あ
なた自身が、左記の体験
を得る可能性はどれくら
いだと思いますか？
10点満点でお答え下さい。

(思いつくままに)

1	<input type="text"/>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> ま好 好な あま いし く </div> <div style="text-align: center;"> ←好ましくなさ→ </div> <div style="text-align: center;"> 非好 好な 常 ま い し く </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> き わ め て 小 </div> <div style="text-align: center;"> ←可能性→ </div> <div style="text-align: center;"> き わ め て 大 </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
2	<input type="text"/>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
3	<input type="text"/>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
4	<input type="text"/>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
5	<input type="text"/>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																		

Negative Outcome (＝負の成果) : i i の好ましくなさの程度 (＝誘意性) : $V_i^{(?)}$ i の成起の主観的確率 (＝道具性) : $I_i^{(?)}$

各個人について求められる $\Sigma (I_i^{(?)}) \times V_i^{(?)}$ は、すなわち、その個人の、観光を回避しようとする傾向の大きさ、すなわち、回避モチベーションの大きさを示す。

3. Negative Outcome の分類

139の調査対象者が、それぞれ5件ずつ自由記述した観光の Negative Outcome (計695件) を整理したのが、表3・1である。

ここでは、記述内容を、2つの要素から分類することが試みられている。すなわち、

記述に含まれる対象要素 ($j, j = 1, 2, 3, \dots, 10$) : たたとえば、土地の人。

記述に含まれる述語要素 ($i, i = 1, 2, 3, \dots, 34$) : たたとえば、不親切である。

の2つの要素である。

記述の中には、対象要素を特定化できないもの、あるいは、むしろ対象要素を、あえて分離すると意味が不明となるものもあり、この際には、対象要素を、 $j = 0$ として分類してある。

すべての記述を、(i, j)の各セルに、分類した結果、該当記述のあったセルは、計72であった。

ところで、表3・1をみてみると、該当記述があるセルは、対角線にそって分布しており、 i と j は、かならずしも独立ではなく、とくに1~20の i については、特定の j とリンクしつつ、1つの記述を構成していることが、理解できる。

このことは、対象要素 j と述語要素 i とを分離しつつ分析吟味することが、かならずしも最善の策ではないことを、示唆する。そこで、同表に準拠しつつ、記述内容の再分類を試みたのが、同表右欄の摘要に示した分類である (分類コード $k, k = 1, 2, 3, \dots, 24$)。

ちなみに、24に分類された Negative Outcome は、さらに4つの領域に要約されたが、それらは、

- I. 観光条件 (金がかかる, 混雑する——など)229件
- II. 観光対象 (よどす, よどされている——など) 64件

Ⅲ．対人関係（ケンカする，いやな人間性をみる——など）……131件

Ⅳ．自分自身（病気・事故，疲労——など）……271件

であった。

観光のもたらす Negative Outcome としては，記述件数でみるかぎり「Ⅰ．観光条件」ならびに，「Ⅳ．自分自身」についての事項がイメージされやすいことが示唆されている。以下，Ⅰ～Ⅳの4つの領域ごとに，分類手続および分類結果を概略することとする。

表3・1 Negative Outcome の分類結果

対象要素	対特定要素をす	観光事業			観光対象			人				計	摘要 (iの要約)		
		交通	宿泊	遊業	自然	観光地	観光物	土の地人	観光客	異性	仲間				
述題要素	j	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	k		
わずらわしい・めんどろ 計画がくるう	1	5	2	2	4								13	Ⅰ 観光条件	
	2	9											9		
不便である 混雑する 金がかかる 時間的余裕がない	3	1	20	7									28		Ⅰ 観光条件
	4	28	11	1		7				9			56		
	5	57	2	1	3								63		
	6	21												21	
7	4	1	2	7									14		
サービスが悪い 食事がまずい	8	5											5	Ⅰ 観光条件	
	9	20											20		
天気にくぐまれない	10					7		1					8		Ⅰ 観光対象
	11			1		3		9					13		
	12	10				1	6						17		
	13	13				2	3						18		
14	4				4							8			
出会いがない いやな人間性をみる 不親切である おどされる・おそわれる 不良行論をする ケンカする	15	2									6		8	Ⅲ 対人関係	
	16	22							1				23		
	17	4							5				9		
	18	9							3				12		
	19	11							3		9		23		
	20	35							7			14	56		
失敗・ハマをする はめをはずす 金をムダ使う	21	5	15		1								21	Ⅳ 自分自身	
	22	9		1									10		
	23	11											11		
金や物をとられる・盗まれる 金や物を紛失する	24	18											18	Ⅳ 自分自身	
	25	13											13		
生活が不規則になる 体調をこわす 疲れる 病気になる・ケガをする 事故にあう	26	5											5	Ⅳ 自分自身	
	27	18	3										21		
	28	37											37		
	29	45											45		
不安になる 煽りたくなる	30	29	3										32	Ⅳ 自分自身	
	31	16											16		
退屈する 期待がはずれる	32	5											5	Ⅳ 自分自身	
	33	4					5						9		
計	34	20					8						28	Ⅳ 自分自身	
		495	57	15	15	17	29	10	19	9	15	14	695		

3・1 「Ⅰ. 観光条件」に関する Negative Outcome

ここでは、交通、宿泊などの観光事業、および、みやげ物屋など、観光関連事業に関しての Negative Outcome が、主として分類されている。

これらは、いずれも、観光行動を支える条件であり、同様の意味あいにおいて、金、時間、天気などに関しての Negative Outcome もここに分類された。

なお、サービスは、ある意味では観光対象として措定されうるものであるが、サービスに関する記述では、対象要素として、交通、宿泊、関連事業を含むものが多く、ここに分類されることになった。

詳細は、表3・1・1に示すとおりであり、結果として、計7種類の記述がここに分類され、領域全体としての出現率(%表示)は、164.7%であり、1人あたり、約1.6件の出現率であった。

表3・1・1 「観光条件」に関する Negative Outcome

Negative Outcome k	対象要素 j i	0 対象要素を 特定化せず			1 交 通			2 宿 泊			3 関連事業			5 観 光 地			8 観 光 客			計		
		T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T(%)	A(%)	B(%)
1 手続き・計画	1,2	14	6	8	2	1	1	2	1	1	4	2	2							22(15.8)	10(13.3)	12(18.7)
2 不便である	3	1	0	1	20	7	13	7	3	4										28(20.1)	10(13.3)	18(28.1)
3 混雑する	4	28	8	20	11	5	6	1	0	1				7	3	4	9	7	2	56(40.2)	23(30.6)	33(51.5)
4 金がかかる	5	57	34	23	2	0	2	1	0	1	3	2	1							63(45.3)	36(48.0)	27(42.1)
5 時間的余裕がない	6	21	9	12																21(15.1)	9(12.0)	12(18.7)
6 サービス	7,8	9	4	5	1	0	1	2	1	1	7	3	4							19(13.6)	8(10.6)	11(17.1)
7 天気にめぐまれない	9	20	13	7																20(14.3)	13(17.3)	7(10.9)
計		150	74	76	36	13	23	13	5	8	14	7	7	7	3	4	9	7	2	229(164.7)	109(145.3)	120(187.5)

T=全体 (139名)
A=計画ありグループ (75名)
B=計画なしグループ (64名)
%= (件数/人数) × 100 (切り捨て計算)

3・2 「Ⅱ. 観光対象」に関する Negative Outcome

ここでは、主として、自然、観光地、観光物などいわゆる観光対象を対象要素として含む記述が分類された。

結果は、表3・2・1に示すとおりであり、記述の内容としては、汚れ、破壊に関する記述が主なものであった。

領域全体としての出現率(%表示)は、46.0%であり、「観光条件」、「自分自身」に比較すると、低い出現率であった。これは1人あたり約0.5件の出現率である。

なお、自然、観光地、観光物の分類は、観光対象を分類するにあたってかならずしも適切な用語ではない。しかし、これらの用語が今回の調査で得られた記述には多く、ここでは便宜的にそのまま用いている。

表3・2・1 「観光対象」に関する Negative Outcome

Negative Outcome k	対象要素 j i	0 対象要素を 特定化せず			2 宿 泊			4 自 然			5 観 光 地			6 観 光 物			計		
		T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T(%)	A(%)	B(%)
8 破壊されている	10							7	3	4				1	1	0	8(5.7)	4(5.3)	4(6.2)
9 こわす	11				1	0	1	3	1	2				9	5	4	13(9.3)	6(8.0)	7(10.9)
10 よごされている	12	10	7	3				1	1	0	6	4	2				17(12.2)	12(16.0)	5(7.8)
11 よごす	13	13	9	4				2	1	1	3	1	2				18(12.9)	11(14.6)	7(10.9)
12 観光化している	14	4	2	2				4	3	1							8(5.7)	5(6.6)	3(4.6)
計		27	18	9	1	0	1	17	9	8	9	5	4	10	6	4	64(46.0)	38(50.6)	26(40.6)

T=全体 (139名)
A=計画ありグループ (75名)
B=計画なしグループ (64名)
%= (件数/人数) × 100 (切り捨て計算)

3・3 「Ⅲ. 対人関係」に関する Negative Outcome

ここには、主に、人を対象要素として含む記述が分類された。

対象要素として特定化された「人」は、土地の人、異性、仲間の3要素であった。この他に、「他の観光者」も要素としてはありうるが、得られた記述の中には、この用語は見られなかった。ただ、記述内容のうち、「いやな人間性をみる—対象要素を特定化せず」に分類された記述などは、かなりの部分が、「他の観光者」を意識しての記述とおもわれる。

表3・3・1に示す如く計6種の記述事項がここには分類されているが、それらは、主に、出会い、親切、ケンカに関するものであった。領域全体として出現率(%表示)は、94.2%であり、1人あたりおよそ0.9件の出現率であった。

表3・3・1 「対人関係」に関する Negative Outcome

Negative Outcome k	対象要素 j i	0 対象要素を特定化せず			5 土地の人			7 異 性			9 仲 間			計		
		T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T(%)	A(%)	B(%)
13 出会いがけない	15	2	0	2				6	4	2				8(5.7)	4(5.3)	4(6.2)
14 いやな人間性をみる	16	22	12	10	1	1	0							23(16.5)	13(17.3)	10(15.6)
15 不親切である	17	4	1	3	5	2	3							6(6.4)	3(4.0)	6(9.3)
16 おどされる・おそわれる	18	9	5	4	3	1	2							12(8.6)	6(8.0)	6(9.3)
17 不良行為をする	19	11	9	2	3	3	0	9	5	4				23(16.5)	17(22.6)	6(9.3)
18 ケンカする	20	35	26	9	7	5	2				14	9	5	56(40.2)	40(53.3)	16(25.0)
計		83	53	30	19	12	7	15	9	6	14	9	5	131(94.2)	83(110.6)	48(75.0)

T=全体 (139名)
A=計画ありグループ (75名)
B=計画なしグループ (64名)
%=(件数/人数)×100(切り捨て計算)

3・4 「Ⅳ. 自分自身」に関する Negative Outcome

自分自身に関しては、計6種の記述内容が分類された。

これらの Negative Outcome は、疲労、病気、事故などを述語要素として含む記述であり、対象要素を分離することには、あまり意味がない。また、実際、これまでにあげたような対象要素を含む記述はごく少なく、結果は、失敗、事故、疲労などに関する記述内容中に、交通を特定化するものが若干認められたにとどまる。

表3・4・1に示す如く、領域全体としての出現率(%表示)は、194.9%であり、4つの領域中、最大値を示した。ちなみに、この結果は、1人あたり約1.9件の出現率である。

ただし、モラル調査において賃金や福利厚生への不満が常に高い値を示すのと同じ意味で、領域「Ⅰ. 観光条件」においては金が、本領域「Ⅳ. 自分自身」においては疲労、病気、事故が、Negative Outcomeとして表出されている可能性も否定できない。すなわち、これらは、観光のNegative Outcomeを述べる際の共通言語とも考えられるわけである。

表3・4・1 「自分自身」に関する Negative Outcome

Negative Outcome k	対象要素 j グループ i	0 対象要素を特定化せず			1 交 通			2 宿 泊			3 関連事業			5 観 光 地			計		
		T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T	A	B	T(%)	A(%)	B(%)
19 解放感・失敗	21, 22, 23	25	10	15	15	8	7	1	0	1	1	0	1				42(30.2)	18(24.0)	24(37.5)
20 盗難・紛失	24, 25	31	15	16													31(22.3)	15(20.0)	16(25.0)
21 疲労	26, 27, 28	60	42	18	3	2	1										63(45.3)	44(58.6)	19(29.6)
22 病気・事故	29, 30	74	45	29	3	1	2										77(55.3)	46(61.3)	31(48.4)
23 不安	31, 32	21	9	12													21(15.1)	9(12.0)	12(18.7)
24 期待はずれ	33, 34	24	9	15								13	4	9			37(26.6)	13(17.3)	24(37.5)
計		235	130	105	21	11	10	1	0	1	1	0	1	13	4	9	271(194.9)	145(193.3)	126(193.7)

T=全体 (139名)
A=計画ありグループ (75名)
B=計画なしグループ (64名)
%=(件数/人数)×100(切り捨て計算)

4. Negative Outcome の吟味

以下、夏休みに旅行の計画があるグループと計画のないグループについて、I～IVの領域別に、記述件数、当該 Outcome に付与された $V^{(-)}$ (誘意性=好ましくなさの程度)、 $I^{(-)}$ (道具性=観光が当該 Outcome を導びくであろうという主観的確率) などの結果を吟味する。

両グループの差異を吟味することは、すなわち、観光への阻害要因を明らかにすることにつながるであろう⁽⁵⁾。

4・1 記述件数からみた吟味

Aグループ(計画ありグループ)とBグループ(計画なしグループ)における、記述件数からみた差異は、図4・1・1に示すとおりであった。

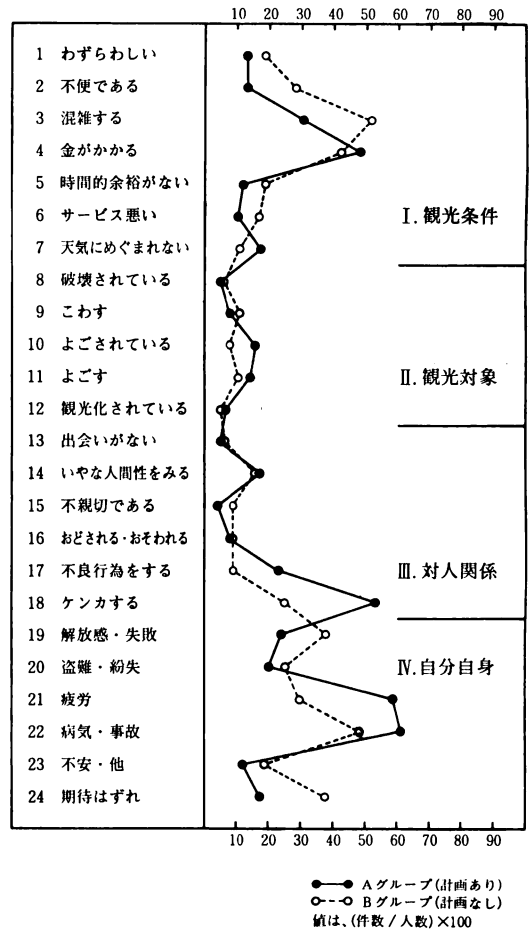
全体としては、すでにふれたごとく、〈3. 混雑する〉、〈4. 金がかかる〉、〈18. ケンカする〉、〈21. 疲労〉、〈22. 病気・事故〉、などが、観光の Negative Outcome としてイメージされていることがみてとれる。しかしこれらをもって、即、観光の阻害要因と考えるのは早計であろう。すでに説明したように、単にこれらの事項は、観光の Negative Outcome を述べる際の、共通言語にすぎないかもしれないからである。

記述件数から、当該事項が観光の阻害要因となっているかどうかを吟味するためには、ここでは、A、B両グループの差異を吟味することが妥当と思われる。

両グループの比較では、計画ありのAグループに比べて、計画なしのBグループでは、〈23. 不便である〉、〈3. 混雑する〉、〈19. 解放感・失敗〉、〈24. 期待はずれ〉、の記述件数が多く、これらの諸事項が、観光の阻害要因として機能している可能性が示唆されている。

たとえば、〈4. 金がかかる〉は、トータルとしては件数の多い記述であるが、A、B両グループ間には差がみられない。すなわち、この結果は、「金がかかることはだれしも認めるものの、金がかかるから観光しないというわけではない」ことを、示唆するものと考えられる。

図4・1・1 記述内容別平均記述件数



(5) ここで、Aグループ(夏休みに旅行の計画あり)は、観光への高モチベーション群、Bグループ(計画なし)は、観光への低モチベーション群と、操作的に扱うこととする。

4・2 V⁽⁻⁾, I⁽⁻⁾ からみた吟味

A, B 両グループが、当該記述に対して付与した V⁽⁻⁾, I⁽⁻⁾ を図示したのが、図 4・2・1 である。

全体的傾向をみてみると、まず、V⁽⁻⁾ (好ましくなさの程度) では、「Ⅱ. 観光対象」、「Ⅲ. 対人関係」に関する記述において、値が大きくなる傾向がみてとれる。また、I⁽⁻⁾ (当該記述の成起可能性) では、「Ⅱ. 観光対象」「Ⅰ. 観光条件」に関する記述において、値が大きくなる傾向がみてとれる。

すなわち、上記の結果は、たとえば、「Ⅱ. 観光対象」に関する Negative Outcome は、好ましくないし、生起の可能性も高いと、対象者において認知されていることを示し、「Ⅲ. 対人関係」に関する Negative Outcome は、好ましくないが、生起の可能性はそれほど高くないと、対象者において認知されていることを示している。

この間の事情を図示したのが、図 4・2・2 である (図 4・2・3, 図 4・2・4 では、これを A, B グループ別に示してある)。

図 4・2・1 に注目すれば、24 種類の記述 (Negative Outcome) は、以下の 4 つのタイプに要約することができる。

タイプ① 好ましくなさ大、生起の可能性大：たとえば、〈10. よごされている〉、〈11. よごす〉、〈12. 観光化している〉、〈3. 混雑する〉など。

タイプ② 好ましくなさ大、生起の可能性小：たとえば、〈16. おどされる・おそわれる〉、〈22. 病気・事故〉、〈20. 盗難・紛失〉など。

タイプ③ 好ましくなさ小、生起の可能性大：ここに該当する記述内容はとくにみいだせない。

タイプ④ 好ましくなさ小、生起の可能性小：たとえば、〈13. 出会いがない〉、〈23. 不安・他〉など。

一般論としては、たとえば、個人々人においては、意識の中でタイプ④に属する事項は、観光の阻害要因とはなりにくい、と考えることができよう。

図 4・2・2, 図 4・2・3 において、A, B 両グループ間の差異を、V⁽⁻⁾ ないし I⁽⁻⁾ における、A グループから B グループへの変動として吟味してみると、

- 2. 不便である…………… (↓) V⁽⁻⁾ の低下
- 8. 破壊されている…………… (↑) V⁽⁻⁾ の増大, I⁽⁻⁾ の増大
- 12. 観光化している…………… (↓) V⁽⁻⁾ の低下

図 4・2・1 記述内容別 I⁽⁻⁾, V⁽⁻⁾ の平均値

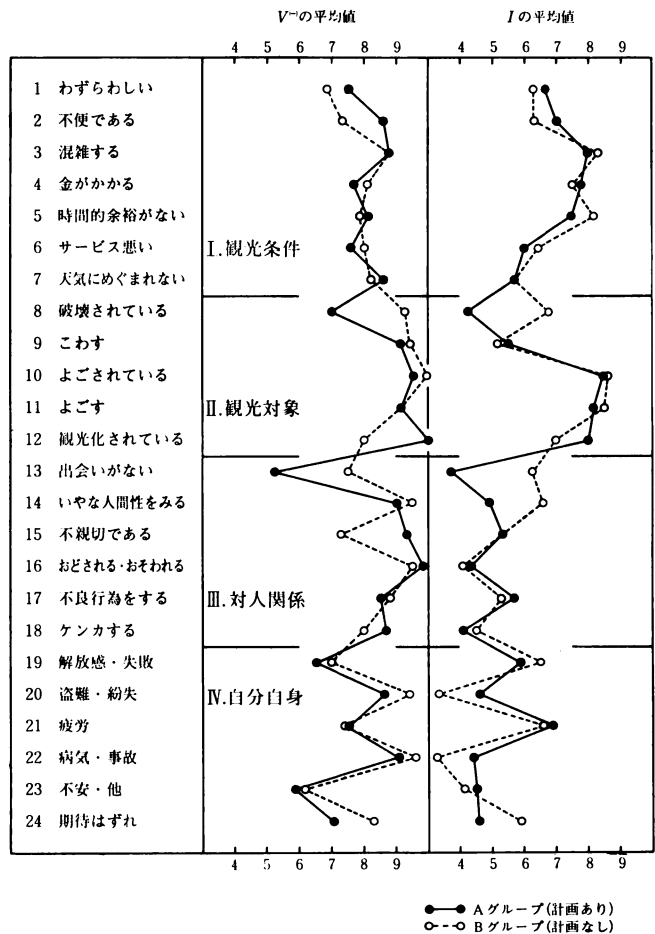


図4・2・2 $V^{(-)}$ と $I^{(-)}$ の相関図(全体)

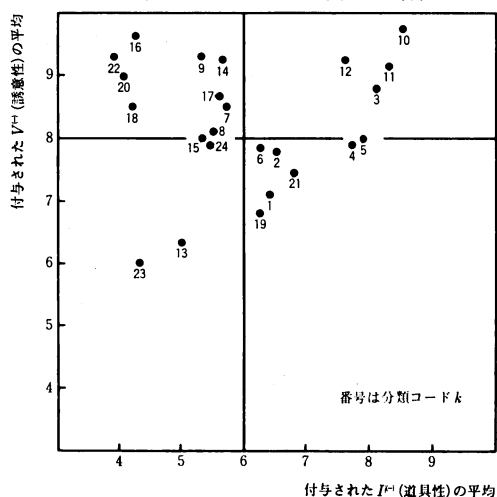


図4・2・3 $V^{(-)}$ と $I^{(-)}$ の相関図(Aグループ)

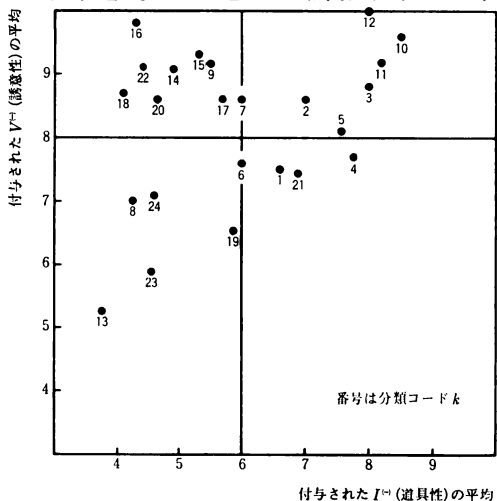
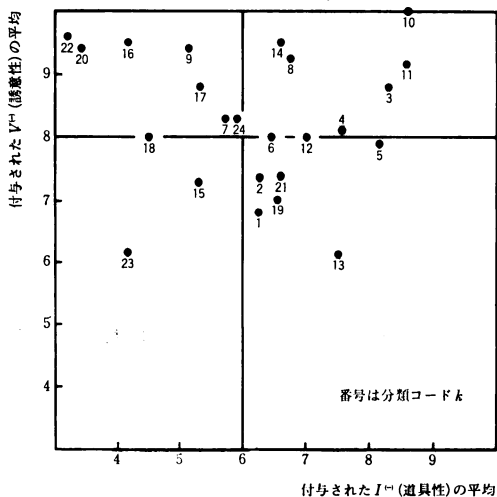


図4・2・4 $V^{(-)}$ と $I^{(-)}$ の相関図(Bグループ)



- 13. 出会いがない…………… (→) $I^{(-)}$ の増大
- 14. いやな人間性をみる… (→) $I^{(-)}$ の増大
- 15. 不親切である…………… (↓) $V^{(-)}$ の低下
- 24. 期待はずれ…………… (↑) $V^{(-)}$ の増大

の諸事項において、その $V^{(-)}$ 、ないしは $I^{(-)}$ がA、B間で大きな変動を示すことがみてとれる(カッコ内の→印は、AグループからBグループへの変化を示す)。

これらのうち、Bグループにおいて、「好ましくなさ= $V^{(-)}$ 」が増大するのは、〈24. 期待はずれ〉、〈8. 破壊されている〉、であり、「生起の可能性= $I^{(-)}$ 」が増大するのは、〈8. 破壊されている〉、〈13. 出会いがない〉、〈14. いやな人間性をみる〉である。

すなわち、上記の結果は、これら、4つの諸事項が、観光への大きな阻害要因となっていることを示唆するものと考えられる。

4・3 $I^{(-)} \times V^{(-)}$ からみた吟味

前号で述べたように、期待理論の適用においては当該個人において、5つの Negative Outcome に対して付与された $V^{(-)}$ 、 $I^{(-)}$ の積和、すなわち、 $\sum (I^{(-)} \times V^{(-)})$ の大きさは、観光への回避のモチベーションを示す測度として操作的に定義されている。

4・2の分析では $V^{(-)}$ と $I^{(-)}$ を両軸とした相関図を示したが、 $V^{(-)}$ 、 $I^{(-)}$ がともに大きな事項はそれだけ $I^{(-)} \times V^{(-)}$ の値も大きく、観光の阻害要因となっていることが想定される。

図4・3・1は、A、Bそれぞれのグループについて、24の記述内容ごとに求めた $I^{(-)} \times V^{(-)}$ の平均値を、A、Bそれぞれのグループについて示している。

Aグループに対して、Bグループにおいて $I^{(-)} \times V^{(-)}$ が大きくなる記述内容は、〈8. 破壊されている〉、〈13. 出会いがない〉、〈14. いやな人間性をみる〉、〈24. 期待はずれ〉、であり、これらが観光の阻害要因となっていることがうかがわれる。

また、上記の結果は、4・2の分析結果とも一致している。

ところで、ここで吟味した $I^{(-)} \times V^{(-)}$ は、当該事項が Negative Outcome として意識された場合についての値であって、たとえこの値が大きくても一般において、それが意識されることがあまりないと

図4・3・1 記述内容別 $I^{(-)} \times V^{(-)}$ の平均

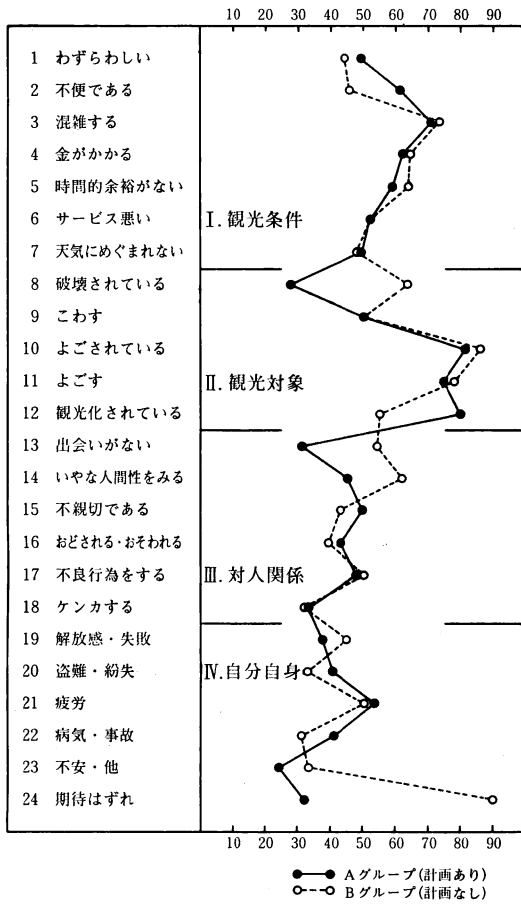
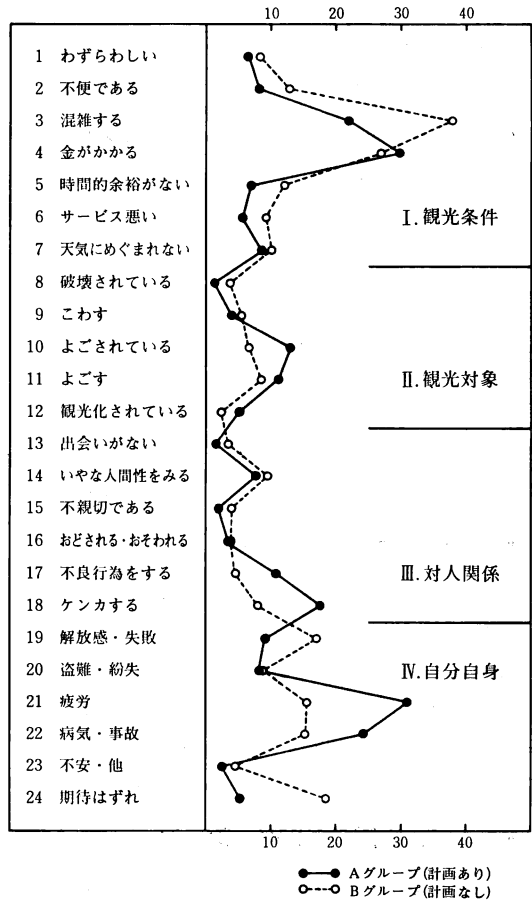


図4・3・2 (平均件数) $\times I^{(-)} \times V^{(-)}$ の平均



すれば、観光の阻害要因としてとりあげるには無理があるかもしれない。

そこで、 $I^{(-)} \times V^{(-)}$ にさらに平均出現率を乗じて吟味したのが図4・3・2である。

全体としてみれば「Ⅱ. 観光対象」に関する事項で値が大きくなる傾向がみられるが、A、B両グループの比較では、やはり、〈8. 破壊されている〉、〈13. 出会いが無い〉、〈14. いやな人間性を見る〉、〈24. 期待はずれ〉、の諸記述内容において、Bグループがより大きな値を示している。

すなわち、結果は同じであり、平均出現率を乗じた場合の分析においても、上記4種の Negative Outcome は観光の阻害要因であることが、示唆されている。

ちなみに、Aグループに対しBグループで出現率が高い事項のうち、〈23. 不便である〉、〈3. 混雑する〉、〈19. 解放感・失敗〉、の諸事項は、 $I^{(-)}$ の測度を導入して吟味した場合は、観光の阻害要因と考えるには無理がある。すなわち、これらの諸事項は、観光の Negative Outcome として、とくにBグループ (計画なし=観光への動機づけの低いグループ) においてイメージされやすいが、その $V^{(-)}$ 、あるいは $I^{(-)}$ は、それほど大きな値を示していないのである。

5. 要約と発見事実の整理

方法論としての「今後の課題」についてはすでに前号に述べたので、ここでは、結果を要約し、発見事実を整理すると定める。

5・1 Negative Outcome としてイメージされやすい事項

記述件数の大きさからみて、〈3. 混雑する〉、〈4. 金がかかる〉、〈18. ケンカする〉、〈21. 疲労〉、〈22. 病気・事故〉は Negative Outcome として、イメージされやすい事項であることが示唆された（いずれも、出現率40%以上）。

しかしA、B両群の比較では、上記諸事項のうち〈4. 金がかかる〉、〈18. ケンカする〉、〈21. 疲労〉、〈22. 病気・事故〉においては、出現率に顕著な差異はなく、むしろこれらは、観光行動の規定要因としてよりは、Negative Outcome をあげる際の共通言語であると解釈された。

両グループ間で、とくにBグループ（計画なし=低モチベーション群）において、出現率が増加する事項には、〈23. 不便である〉、〈3. 混雑する〉、〈19. 解放感・失敗〉、〈24. 期待はずれ〉があり、むしろ、これらが、選択行動としての観光行動を阻害する要因であることが予想された。

5・2 イメージされた Negative Outcome の好ましくなさ、その生起の可能性

しかしながら、もし、上記事項について、その好ましくなさの程度が低いか、ないしは、その生起の主観的確率が低い場合には、それらは、観光の阻害要因とはならないであろう。

低モチベーションのBグループにおいて、好ましくなさの程度が、より大きい事項としては、〈24. 期待はずれ〉、〈8. 破壊されている〉があり、生起の主観的確率がより高い事項としては、〈8. 破壊されている〉、〈13. 出会いがない〉、〈14. いやな人間性をみる〉があり、むしろ、これらの4事項（ちなみに〈8. 破壊されている〉は共通）が、観光行動の阻害要因として考えられた。

5・3 観光回避のモチベーション

前号で説明した如く、観光モチベーションの予測値は、接近のモチベーションから回避のモチベーションを差し引いた残差分として定義され、回避モチベーションそのものは、本研究手続きに従えば、5つの Negative Outcome に付与した $V^{(-)}$ （好ましくなさの程度）と $I^{(-)}$ （当該 Outcome の生起の主観的確率）の積和として定義される。

記述ごとに求めた $I^{(-)} \times V^{(-)}$ の平均を、A、B両グループで比較すると、〈8. 破壊されている〉、〈13. 出会いがない〉、〈14. いやな人間性をみる〉、〈24. 期待はずれ〉、の諸事項において、低モチベーションのBグループで $I^{(-)} \times V^{(-)}$ の増大がみられ、観光の阻害要因であることが認められた。

また、 $I^{(-)} \times V^{(-)}$ に、さらに平均出現率を乗じた分析においても、上記と同じ結果であったが、これら4事項は、5・2でも観光の阻害要因として抽出されている。

6. む す び

上記の結果は、金、混雑、事故、病気などが、たとえ観光の Negative Outcome としてイメージされやすいにせよ、実際の行動選択場面においては、「破壊された観光対象に出会うこと」、「他者との出会いがないこと」、「対人問題で不愉快さを味わうこと」、「期待がうらぎられること」などが、主なる阻害要因となっていることを、示唆するものであろう（この結果は、もちろん、調査対象者であった大学生についていえることではあるが）。

観光地における観光公害（自然破壊など）、および、誇大宣伝による観光期待に対するうらぎりなどが、観光行動選択の阻害要因として機能することは、当然のことでもあり、また、この点についての反

省もすでにみられている。

むしろ興味深いのは、他者との出会いのなさ、および、対人問題での不快経験の二つであろう。

前号の Positive Outcome の分析において、「対人的出会い」が、観光への接近モチベーションを規定していることを指摘したが、本分析においては、逆に、対人問題が、回避のモチベーションを規定していることが示唆されている。

このことはすなわち、当該個人の Social Skill の有様が、他者との出会いを、好ましい体験あるいは好ましくない体験とさせている事実を物語ってはいないだろうか。

観光は、楽しみのための旅であると同時に直接体験を通しての学習の場面でもある⁽⁶⁾。もし、Social Skill 欠如のゆえに、自ら学習のそして楽しみを放棄する者があるとすれば、これはやはり社会的問題といわざるを得ない。

参 考 文 献

- 香川 眞〔1976〕レジャー行動を規定する心理的要因に関する一考察 第34回観光学会発表要旨集
香川 眞〔1977〕観光学における心理的視座 第36回観光学会発表要旨集
香川 眞〔1978^a〕観光の諸効果 前田 勇(編)「観光概論」学文社所収 50—58
香川 眞〔1978^b〕余暇行動としての観光に対する期待 第38回観光学会 発表要旨集
香川 眞〔1979^a〕Expectancy Theory による観光モチベーションの研究(Ⅰ) 大阪産業大学産業研究所
所報 No.2 49—76
小林一史〔1978〕余暇行動を規定する心理的要因に関する研究 第38回観光学会発表要旨集
前田 勇〔1970^a〕観光の心理学 観光 29号 40—47
前田 勇〔1970^b〕「観光」に対する期待 HORIZON No.7 24—30
前田 勇〔1971〕観光論の原点——観光のイメージ分析—— 観光 40号 4—8
- 期待理論によるモチベーション測定については、以下を参照されたい。これらはいずれも、主に Work Motivation を扱ったものであるが、本研究は、これらの枠組みを観光へのモチベーションに適用したものである。
- 香川 眞〔1979^b〕仕事および余暇を通してのパーソナリティの成長について 大阪産業大学論集社会科学編
51・52号 99—115
Lawler, E. E. III〔1971〕Pay and Organizational Effectiveness New York: McGraw-Hill
安藤瑞夫(訳) 給与と組織効率 ダイアモンド社
Vroom, V. H.〔1964〕Work and Motivation New York: John Wiley

(6) この点については、香川〔1978^a〕を参照されたい。

Appendix

附表1 詳細統計表

附表2 記述内容の詳細

附表 1 詳細統計表

k 記述内容	当該Outcomeのトータル件数。(分母をグループ人数とした%)。100で割れば平均件数)		当該Outcomeに付与されたV(・)のトータル(平均)		当該Outcomeに付与されたI(・)のトータル(その平均)		当該OutcomeのI(・)×V(・)のトータル	
	計画あり グループ	計画なし グループ	計画あり グループ	計画なし グループ	計画あり グループ	計画なし グループ	計画あり グループ	計画なし グループ
1 手続き・計画	10(13.3)	12(18.7)	75(7.50)	82(6.83)	66(6.60)	75(6.25)	490(49.00)	531(44.25)
2 不便である	10(13.3)	18(28.1)	86(8.60)	133(7.38)	70(7.00)	113(6.27)	612(61.20)	823(45.72)
3 混雑する	23(30.6)	33(51.5)	203(8.82)	291(8.81)	184(8.00)	274(8.30)	1645(71.52)	2432(73.69)
4 金がかかると	36(48.0)	27(42.1)	278(7.72)	219(8.11)	280(7.77)	204(7.55)	2238(62.16)	1740(64.44)
5 時間的余裕がない	9(12.0)	12(18.7)	73(8.11)	95(7.91)	68(7.55)	98(8.16)	538(59.77)	771(64.25)
6 サービス	8(10.6)	11(17.1)	61(7.62)	88(8.00)	48(6.00)	71(6.45)	421(52.62)	578(52.54)
7 天気にめぐまれない	13(17.3)	7(10.9)	112(8.61)	58(8.28)	74(5.69)	40(5.71)	642(49.38)	336(48.00)
小計	109(145.3)	120(187.5)	888(8.14)	966(8.05)	790(7.24)	875(7.29)	6586(60.42)	7211(60.09)
8 破壊されている	4(5.3)	4(6.2)	28(7.00)	37(9.25)	17(4.25)	27(6.75)	111(27.75)	255(63.75)
9 こわす	6(8.0)	7(10.9)	55(9.16)	66(9.42)	33(5.50)	36(5.14)	301(50.16)	352(50.28)
10 よこさす	12(16.0)	5(7.8)	115(9.58)	50(10.0)	102(8.50)	43(8.60)	978(81.50)	430(86.00)
11 よこす	11(14.6)	7(10.9)	101(9.18)	64(9.14)	90(8.18)	60(8.57)	830(75.45)	546(78.00)
12 観光化している	5(6.6)	3(4.6)	50(10.00)	24(8.00)	40(8.00)	21(7.00)	400(80.00)	166(55.33)
小計	38(50.6)	26(40.6)	349(9.18)	241(9.26)	282(7.42)	187(7.19)	2620(68.94)	1749(67.26)
13 出会いが無い	4(5.3)	4(6.2)	21(5.25)	30(7.50)	15(3.75)	25(6.25)	124(31.00)	218(54.50)
14 いやな人間性を見る	13(17.3)	10(15.6)	118(9.07)	95(9.50)	64(4.92)	66(6.60)	596(45.84)	621(62.10)
15 不親切である	3(4.0)	6(9.3)	28(9.33)	44(7.33)	16(5.33)	32(5.33)	150(50.00)	259(43.16)
16 おどされる・おそわれる	6(8.0)	6(9.3)	59(9.83)	57(9.50)	26(4.33)	25(4.16)	257(42.83)	237(39.50)
17 不良行為をする	17(22.6)	6(9.3)	146(8.58)	53(8.83)	97(5.70)	32(5.33)	813(47.82)	301(50.16)
18 ケンカする	40(53.3)	16(25.0)	348(8.70)	128(8.00)	164(4.10)	72(4.50)	1317(32.92)	512(32.00)
小計	83(110.6)	48(75.0)	720(8.67)	407(8.47)	382(4.60)	252(5.25)	3257(39.24)	2148(44.75)
19 解放感・失敗	18(24.0)	24(37.5)	118(6.55)	169(7.04)	106(5.88)	157(6.54)	680(37.77)	1089(45.37)
20 盗難・紛失	15(20.0)	16(25.0)	129(8.60)	151(9.43)	70(4.66)	55(3.43)	607(40.46)	532(33.25)
21 疲労	44(58.6)	19(29.6)	328(7.45)	141(7.42)	304(6.90)	126(6.63)	2354(53.50)	966(50.84)
22 病気・事故	46(61.3)	31(48.4)	419(9.10)	299(9.64)	203(4.41)	99(3.19)	1861(40.45)	965(31.12)
23 不安・他	9(12.0)	12(18.7)	53(5.88)	74(6.16)	41(4.55)	22(2.55)	299(33.22)	211(24.55)
24 期待はずれ	13(17.3)	24(37.5)	92(7.07)	200(8.33)	60(4.61)	142(5.91)	410(31.53)	178(90.61)
小計	145(193.3)	126(193.7)	1139(7.85)	1034(8.20)	784(5.40)	629(4.99)	6133(42.29)	5029(34.68)
計	375(500.0)	320(500.0)	3096(8.25)	2648(8.27)	2238(5.96)	1943(6.07)	18596(49.58)	16137(50.42)
計							247.94	252.14

附表2 記述内容の詳細

コード			記述	Aグループ				Bグループ				
k	i	j		件数	V(-)	I(-)	I(-)×V(-)	件数	V(-)	I(-)	I(-)×V(-)	
1.わずらわしい	1.わずらわしい・めんどろ	0 対象要素を特定化せず	予約がめんどろ 予約などの手間がかかる 旅全体の手続不備 計画をたてるのがめんどろ 規制が多すぎる	1(8	10	80)	1(7	7	49)	
		1 交通	交通などの手続が大変 切符がとれない	1(9	9	81)	1(10	4	40)	
		2 宿泊	旅館が手配できない 宿の予約のいざこざ	1(5	7	35)	1(5	5	25)	
		3 関連事業	お土産を買うのがめんどろ 荷物が多くなる 帰りの荷物が多くなる	1(2	6	12)	1(8	8	64)	
	2 計画がくるろ	0	計画のあまき 計画がくるろ 計画ダオレ 計画性のなさ 無理な計画 計画通りにいかない 予定と行動が一致しない 予定通りにならないことが多い	1(9	5	45)	1(2	5	10)	
	2 不便である	3 不便である	0 対象要素を特定化せず	不便なこと				1(8	9	72)	
			1 交通	地理 地理的問題 地理的感覚の混乱 時間がかかる 目的地まで時間がかかる 道のり(行くまでの時間) 遠いから 交通 交通の便 交通の便の問題 交通機関の障害 交通関係の障害 交通が不便 交通の便が悪 列車の乗車時間が長い 汽車に乗るとき 乗り物がない 乗物に制限される	1(5	8	40)	1(10	3	30)
					1(10	5	50)	1(7	7	49)
					1(10	6	60)	1(7	5	35)
					1(9	5	45)	1(5	8	40)
				1(7	6	42)	1(10	4	40)	
				1(10	10	100)	1(10	10	100)	
				1(8	5	40)	2(8	17	66)	
				1(8	5	40)	1(8	10	80)	
							1(7	8	56)		
							1(10	5	50)		
							1(3	1	3)		
							1(6	6	36)		
		2 宿泊	宿泊の場所 宿無し ホテルがない 泊まるところの設備が悪 い 部屋に色々そろってない	1(7	5	35)	1(8	5	40)	
				2(20	20	200)	1(10	4	40)	
							1(10	5	50)		
							1(6	6	36)		
3 混雑する	4 混雑する	0 対象要素を特定化せず	人が集中してわずらわしい 人が多過ぎて気分を味わえない	1(6	7	42)	1(8	8	64)	

		どこへ行っても混んでいて自然を味えない		1(8 7 56)
		人が多い		2(18 18 162)
		人が多くてこむから		1(2 5 10)
		混雑		2(19 20 190)
		人出で混雑する		1(10 8 80)
		混雑する	1(9 10 90)	
		人が多すぎる	3(27 16 152)	4(35 37 320)
		あまりにも人が多すぎる	1(10 10 100)	
		人がやたらという		1(10 8 80)
		人がたくさんいる		2(18 16 148)
		人の数が多い		1(8 10 80)
		人がたくさんいすぎる	1(8 8 64)	
		シーズンになるとこむ		1(8 10 80)
		シーズンにおける雑とう		1(7 10 70)
		人が多数いる・シーズンはこむ	1(10 10 100)	
		人のむれ		1(10 6 60)
		うるさい		1(10 8 80)
1 交通		交通手段の混雑	1(8 9 72)	
		乗物や道路がこみあっている時	1(6 8 48)	
		列車・車などがこむ場合		1(10 7 70)
		電車・バスが混む	1(8 9 72)	
		電車がこむ時		1(10 9 90)
		列車が大変こむ	1(8 8 64)	
		満員の電車にガマンして乗ること		1(10 10 100)
		道路や列車が込む		1(10 7 70)
		車の集中		1(8 9 72)
		車が混雑する		
		目的地に着くまで道がこむ	1(10 10 100)	1(9 9 81)
2 宿泊		旅館でとなりのへやがうるさい		1(8 8 64)
5 観光地		場所によって人が多い	1(7 5 35)	1(8 6 48)
		人がたくさんいる場所		1(10 7 70)
		観光地などもこんでいる場合		
		観光地に人が集まっている	1(10 7 70)	
		混雑している観光地		1(9 7 63)
		観光地は人が多くて気持ち悪い		1(10 10 100)
		名所の人の多さ	1(10 9 90)	
8 観光客		観光客が多い事	1(10 7 70)	
		観光客が多すぎる	1(10 8 80)	
		観光客がいっぱいいいた時	1(10 9 90)	
		観光客の非常に多い時	1(10 8 80)	
		多勢で旅行する事		1(8 8 64)
		中年の団体客と出あう	1(9 8 72)	
		アベックが多い		1(10 6 60)
		アベックがベタベタしすぎる	1(8 8 64)	
		アベックばかりで欲求不満になる	1(9 10 90)	
4 金がかかる	5 金がかかる	0 対象要素を特定化せず	金	1(10 1 10)
			お金の事	1(5 5 25)
			金銭の問題	1(9 4 36)
				1(1 10 10)

			金セン的なもの		1(7 9 63)
			金銭的な問題	1(9 6 54)	
			金銭的問題	1(10 10 100)	
			金のくめん		1(10 8 80)
			お金に困ること		1(10 8 80)
			帰ってきてから金にこまる	1(10 10 100)	
			経費が少ない	1(8 10 80)	
			金がへる	4(40 40 400)	
			金欠	1(10 3 30)	
			金がなくなる	1(9 9 81)	
			金がたりなくなる		2(20 11 110)
			金が足りなくなったら困る		1(10 6 60)
			お金がなくなった時	3(25 21 185)	
			旅行中に金がなくなる	1(10 9 90)	
			金がかかる	6(43 40 333)	4(25 29 200)
			あまりにも金がかかる	1(5 5 25)	
			お金がかなりかかる		1(10 10 100)
			金がかかりすぎる	1(8 10 80)	
			どこへ行っても金がかかる		1(9 9 81)
			旅行するのにお金がかからなければよいのだが		1(10 10 100)
			金銭的な出費		1(2 2 4)
			多額の出費	1(7 8 56)	
			予定外の出費	1(2 10 20)	
			出費が多くなる		2(14 14 94)
			予算が合わなくなった時		1(7 6 42)
			予算の面で不安が出てくる	1(6 2 12)	
			費用	2(20 20 200)	1(10 10 100)
			費用の問題	1(3 7 21)	
			費用がかかる		1(3 7 21)
			費用がかかりすぎる時	1(7 8 56)	
			予定以上に費用がかかる事	1(5 7 35)	
			物が高い	1(7 8 56)	1(10 10 100)
			なにもかも値が高い	1(10 10 100)	
			観光地の物価が高い		1(10 10 100)
		1 交通	旅費が高い		1(10 10 100)
			旅費等の高さ		1(8 8 64)
		2 宿泊	旅館が高い		1(10 10 100)
		3 関連事業	土産・旅館の値がはる		1(10 8 80)
			みやげなどの金がかかる	1(3 8 24)	
			土産が高価なものばかり	1(10 8 80)	
5 時間的余裕がない	6 時間的余裕がない	0 対象要素を特定化せず	旅行をする時間がない	1(9 2 18)	
			ひまがない		1(8 8 64)
			行ってもすぐ帰るようになるので		1(9 8 72)
			時間のむだ	2(17 20 170)	
			時間のむだ使い		1(8 9 72)
			ムダな時間を使う		1(5 9 45)
			時間が長い	1(6 9 54)	
			時間がたりない		1(7 7 49)
			時間が足りなくなる		2(14 19 132)
			時間におわれる	1(7 6 42)	2(16 15 122)
			時間に追われる事	1(10 5 50)	
			時間にとられる	1(9 7 63)	
			時間のせいやく		1(10 8 80)

			余裕のない旅 ゆっくり見物できない 日時・日数が制限される 時間にしばられ行きたい 所へいけない	1(9 9 81) 1(6 10 60)	1(9 8 72) 1(9 7 63)				
6 サービスが悪い	7 サービスが悪い	0 対象要素を特定化せず	サービス低下 サービスのわるさ サービスが悪い時 サービス悪い	1(5 5 25)	1(9 3 27) 1(9 7 63) 1(5 5 25)				
			1 交通	駅員の態度の悪さ		1(10 8 80)			
			2 宿泊	旅館のサービスの悪さ	1(10 3 30)	1(10 9 90)			
			3 関連事業	その土地の商売気を感じてしまう 土地の商売はどぎつい よびこみがうるさい	1(10 10 100)	1(6 9 54) 1(10 10 100)			
				押し売りのな店員 土産を売りつけること おみやげの不良品 店が少なくおみやげがかえない	1(10 9 90) 1(10 5 50)	1(10 2 20) 1(6 5 30)			
	8 食事がまずい	0 対象要素を特定化せず	食事に対する不満 ごはんがまずい所がある 食べ物があわない 食べ物が合わない事がある 空腹	1(1 1 1) 1(5 5 25) 1(10 10 100)	1(5 5 25) 1(8 8 64)				
7 天気にめぐまれない	9 天気にめぐまれない	0 対象要素を特定化せず	雨 とつげんの雨 雨にたたられる 雨にふられた時 雨が降る 雨が降ると…… 雨が降ったりするとよく 見学できない 雨のため楽しめない 天気 悪天候 天候が悪い 天候が悪い時 天気にめぐまれない旅行	5(50 29 290) 2(10 9 42) 1(10 3 30) 1(10 7 70) 1(10 6 60) 1(4 5 20) 1(10 5 50) 1(8 10 80)	1(10 10 100) 1(10 5 50) 1(6 3 18) 1(10 5 50) 2(18 10 90) 1(4 7 28)				
			8 破壊されている	10 破壊されている	4 自然	自然の破壊 自然のはかい 自然のはかいを見る 自然が破壊されていたりする 多勢の観光客による自然の崩壊を見てしまう	2(15 6 35) 1(8 7 56)	1(10 5 50) 1(7 5 35) 1(10 10 100)	
						6 観光物	歴史のはかい	1(5 4 20)	1(10 7 70)
						9 こわす	11 こわす	1 宿泊	ホテルのものをこわす
			4 自然	自然をはかいする 自然の物をこわす	1(10 9 90)	1(10 9 90) 1(10 8 80)			
				6 観光物	自分の住んでいる土地でないので大事にしない 観光地の物をこわす 物をこわす	1(10 5 50) 1(10 4 40)		1(10 1 10) 1(10 4 40)	

			物をかっけて取る 建物を崩壊すること 公共物の破そん 国宝にキズをつける	1(6 5 30) 1(10 1 10) 1(9 9 81)	1(8 3 24) 1(10 10 100)
10よごされて いる	12よごされて いる	0 対象要素を 特定化せず	ゴミが多い ゴミの山 ゴミがあふれている ゴミの後始末の悪さ ゴミの散乱 ゴミなどでよごされてい る	1(10 10 100) 3(26 28 248) 1(10 2 20) 1(10 9 90) 1(9 10 90)	2(20 16 160) 1(10 8 80)
		4 自然	自然の中にゴミが捨てて ありよごれているとき	1(10 10 100)	
		5 観光地	観光地のよごれ 観光地がよごれているこ と 観光地がきたない 観光地がちらかって見ぐ るしいこと 観光地のゴミの散乱 名所の汚なさ	1(10 8 80) 1(10 9 90) 1(10 6 60) 1(10 10 100)	1(10 9 90) 1(10 10 100)
11よごす	13よごす	0 対象要素を 特定化せず	美をよごす 美しさを乱すこと ゴミをちらかす ゴミをちらかしていく ゴミをちらかすこと ゴミをすてる ゴミを投げすてる	1(9 6 54) 1(10 6 60) 2(19 20 190) 1(10 4 40) 4(37 39 363)	2(18 17 156) 1(10 9 90) 1(10 10 100)
		4 自然	風土をみだす 風土をよごす	1(7 6 42)	1(10 9 90)
		5 観光地	観光地をちらかすこと その町をよごす 旅先の町をよごす	1(9 9 81)	1(6 10 60) 1(10 5 50)
12観光化して いる	14観光化して いる	0 対象要素を 特定化せず	観光化過剰 東京(自分の住んでる所) と同じ様なものがある どこに行ってもビルと車 がある どこも人工的になって東 京とあまり変わらない	1(10 8 80) 1(10 10 100)	1(6 7 42) 1(8 8 64)
		4 自然	観光化しすぎて自然でな い 作られた自然が多い 自然のよさが少ない 自然がそのままか	1(10 10 100) 1(10 7 70) 1(10 5 50)	1(10 6 60)
13出会いがな い	15出会いがな い	0 対象要素を 特定化せず	人が少ない 人との出会いが少ない		1(1 3 3) 1(9 5 45)
		9 異性	かわいい女の子が少ない ブスな女しかいなかった 複数の女性観光が少ない 20才位の若い女性が少な い かわいい娘がなかなかい ない 異性に会わなかった時	1(9 8 72) 1(1 1 1) 1(1 1 1) 1(10 10 100) 1(10 5 50)	1(10 7 70) 1(10 10 100)
14いやな人間 性を見る	16いやな人間 性を見る	0 対象要素を 特定化せず	個人の無責任さ 自分かっけてな行動をとる 人がいる場合	1(9 2 18)	1(7 7 49)

			人間のハメをはずしすぎたいやな面を見る場合が多い 人がものを聞くと知ったかぶりをして教える人がいる 人間のあるしゅう態の発見 だまされる 人にだまされること しつこい人がいる きどった人が多い 旅先での人の印象が悪い 人の裏面を見る 人生の裏を見ることが多い 人のいやな面を見る いやな人間と会う わけのわからない人間と接触する場合 好ましくない人格の人とあう 自分にとって好ましくない奴との接触 観光地のマナーの悪さ 観光地での人々のマナーが悪い	1(10 10 100) 1(8 3 24) 1(9 9 81) 1(10 3 30) 1(9 6 54) 1(10 10 100) 1(7 5 35) 1(5 3 15) 1(10 6 60) 1(10 6 60) 1(9 9 81) 1(10 8 80) 1(10 1 10) 1(10 5 50) 3(30 21 210) 1(10 7 70)	
		7土地の人	その悪い土地の人間性	1(10 2 20)	
15不親切である	17不親切である	0対象要素を特定化せず	不親切 冷たい目 無視された場合 人々が不親切	1(8 5 40)	1(2 2 4) 1(10 5 50) 1(9 5 45)
		7土地の人	土地の人の不親切 土地の人当たりが悪い よそ者扱いされる 地元の人がつめたい 土地の人間が理由なしにいやなそぶりを見せる	1(10 8 80) 1(10 3 30)	1(10 8 80) 1(6 4 24) 1(7 8 56)
16おどされるおそわれる	18おどされるおそわれる	0対象要素を特定化せず	きょうかつ かつあげ かつあげと万引 暴力事件にあう 暴力をうけること 社会的な不安(陰の社会の人) 人間(一部の人)に対する不安 悪い人との出あい	1(10 1 10) 1(10 5 50) 1(9 3 27) 1(10 4 40) 1(10 9 90)	1(10 1 10) 1(9 9 81) 1(8 2 16) 1(10 2 20)
		7土地の人	やくざとの出逢い 土地のやくざの恐しさ 地元のやくざにおそわれる	1(10 4 40)	1(10 6 60) 1(10 5 50)
17不良行為をする	19不良行為をする	0対象要素を特定化せず	風紀上好ましくないこと アンパン(シンナー)遊び ゲーム(マージャン) 学生らしくないおこない 恥のかきすて マナーの悪さ 普段とちがってマナーが悪くなる	2(15 7 40) 1(10 1 10) 1(3 8 24) 1(10 10 100) 1(9 10 90) 1(9 6 54)	1(10 10 100)

			立入禁止の所に誤って入る バスから手や足を出す おまわりさんにつかまる	1(5 1 5) 1(10 10 100)	1(7 5 35)
		7 土地の人	人に不快をあたえた時 対人に対しうそが言える 仲間が他人にめいわくをかける	1(10 1 10) 1(5 10 50) 1(10 1 10)	
		9 異性	女をかどわかす 女をだましてやらせる ナンパの失敗 婦女暴行 婦女暴行・まわし 女遊び のぞき	1(10 1 10) 1(10 10 100) 1(10 1 10) 1(10 10 100) 1(10 10 100) 1(10 10 100)	1(10 10 100) 1(7 1 7) 2(19 6 59)
18ケンカする	20ケンカする	0 対象要素を特定化せず	けんか けんかをする けんかをした時 他人とのケンカ 旅先でのケンカ 旅行中でのケンカ 他人をきずつけること 人とのトラブル 人との乱れ 他人とのもつれあい 人間のあらしい 他人をからかう 人との乱とう 殺す	12(97 60 407) 3(20 16 104) 1(10 2 20) 2(20 8 80) 1(9 5 45) 1(10 3 30) 1(9 8 72) 1(10 3 30) 1(10 2 20) 1(9 3 27) 1(6 5 30) 1(10 10 100)	6(36 34 172) 1(10 3 30) 1(10 3 30) 1(10 4 40)
		7 土地の人	住民をからかう 土地の人とのトラブル その土地の人とのいざこざ その土地の人との乱とう 地方の人とのいがみ合い 地もとの人とケンカする	1(8 3 24) 2(18 5 42) 1(10 1 10) 1(10 2 20)	1(10 4 40) 1(10 1 10)
		10 仲間	仲間われ 仲間との仲たがしい 仲間とのもつれ合い 仲間との考えのちがしい なかまのくいちがしい 旅行中での友とのくいちがしい 仲間とのトラブル 友とのトラブル 友人の心理を疑う 仲間でのけんか 仲間内のけんか 友人とのケンカ 友だちとケンカする	1(2 3 6) 1(10 5 50) 1(10 2 20) 1(10 7 70) 1(10 2 20) 1(10 3 30) 1(10 4 40) 1(10 1 10) 1(10 1 10) 1(8 8 64) 1(8 2 16)	1(8 5 40) 1(8 5 40) 1(10 3 30)
19解放感・失敗	21失敗・へまをする	0 対象要素を特定化せず	旅行先でのチョンボ へまをやる 旅行先での失敗 恥をかく 自分自身のしゅう態の発見	1(10 1 10) 1(9 9 81)	1(10 7 70) 1(8 10 80) 1(10 2 20)
		1 交通	道に迷う	3(22 15 95)	1(9 3 27)

			迷子 まいごになる まよったとき まよう 迷い道 列車にのりおくれる 車で行った時の故障 ガス欠	1(1 1 1) 1(9 9 81) 1(7 3 21) 1(10 1 10) 1(2 5 10)	3(17 17 105) 1(4 4 16)
		3 関連事業	不要品を買う		1(1 10 10)
22はめをはずす		0 対象要素を特定化せず	解放的になり理性が失われる 解放的になりがち 開放的になりすぎてムチャをする 酒をのんであばれる 酒乱 仲間の酒乱 はしゃぎすぎた時 あまりいろいろと考えないではめをはずす	1(5 7 35) 1(8 1 8) 1(3 8 24) 1(7 10 70)	1(1 10 10) 1(5 2 10) 1(10 9 90) 1(7 2 14)
		2 宿泊	宿でのどんちゃんさわぎ		1(10 10 100)
23金をムダ使いする		0 対象要素を特定化せず	金つかい 金のつかいすぎ 金を使いすぎる お金をいっぱい使う お金をつつい使ってしまう やたらとお金を使ってしまう むだ使い 金センのむだ 金銭面にルーズになる	1(6 8 48) 1(7 10 70) 1(2 8 16) 1(10 10 100)	2(17 14 120) 1(10 8 80)
20盗難・紛失	24金や物をとられる・盗まれる	0 対象要素を特定化せず	ぬすみ 盗難 ドロボウ かっぱらい 万引 スリ・殺人 物をとられる 物を盗まれる 荷物のとうなん 荷物の盗難・紛失 銭のトラブル 金銭の事故 金を取られる 金品の盗難	1(10 1 10) 1(10 3 30) 1(10 10 100) 1(10 1 10) 1(10 10 100) 1(10 1 10) 1(1 3 3) 1(10 3 30)	3(30 8 80) 1(10 5 50) 2(20 2 20) 1(1 2 2) 1(10 7 70) 1(10 3 30)
	25金や物を紛失する	0 対象要素を特定化せず	物をなくす ものを忘れる なくしもの お落物・忘れ物 物を忘れてくる 物を紛失する なくしものをした時 なくし物がある場合 お金をおとす お金をおとした	1(7 8 56) 1(10 7 70) 1(10 5 50) 1(9 2 18) 1(10 8 80) 2(12 8 40)	1(10 4 40) 1(10 5 50) 1(10 7 70) 1(10 4 40) 1(10 1 10) 1(10 1 10)

			けが・事故・病気 けが・病気 けが・病気など けが・病気をした時 旅行中のけが けがをする 食あたり・病気 腹痛などの病気を する 食あたり その土地の食べ物が 合わなくて食あたりを する 食中毒	1(8 5 40) 1(10 7 70) 1(10 5 50) 1(10 5 50) 1(10 10 100) 1(10 3 30) 2(20 11 110) 1(8 8 64) 1(10 4 40)	1(10 5 50) 1(10 1 10) 1(10 3 30) 1(8 8 64) 1(10 4 40)
	30事故にあう	0 対象要素を 特定化せず	事故 事故にあう 旅先で事故にあう 事故があった時 事故・病気 突発事故 災害に合う 遭難 遭難(山) おぼれる(海)	12(120 48 480) 2(20 8 80) 1(1 5 5) 1(10 7 70) 1(10 5 50) 1(10 2 20) 1(10 3 30)	5(45 15 145) 2(20 3 30) 1(10 7 70) 1(10 3 30) 1(10 3 30)
		1 交通	交通事故 遭難(交通事故) 車でいった場合の事故	1(1 3 30)	1(10 2 20) 1(10 5 50)
23不安・他	31不安になる	0 対象要素を 特定化せず	不安なこと 不安になる 未知の場所への不安 ひとりではさびしい ひとりの場合は不安 ホームシック とじこもり 環境の違い カンキョウの変化 言語 ことばが通じないこと がある ゆうれい 地縛霊による恐怖体験 るす中での家庭の事故 帰宅時の安心感がない 旅行後の日常に対する不安	1(6 8 48) 1(10 1 10) 1(6 4 24)	1(6 8 48) 1(4 8 32) 1(3 4 12) 1(5 1 5) 1(10 1 10) 1(8 8 64) 1(2 1 2) 1(7 6 42) 1(10 1 10) 1(7 3 21) 1(7 4 28)
	32帰りたくな くなる	0 対象要素を 特定化せず	旅行に行くのと帰りたくな くなる 帰りたくなくなる 帰りの気分 むなしさ 帰った後のむなしさ	1(5 9 45) 1(7 6 42) 1(5 5 25) 1(3 5 15)	1(5 5 25)
24期待はずれ	33退屈する	0 対象要素を 特定化せず	ひま 旅行中ひまな事 変化にとんだ出来事がない 目的がないとかつたるい	1(9 5 45) 1(10 1 10)	1(10 5 50) 1(10 10 100)
		5 観光地	あそぶ所がない 見る場所があまりない	1(8 5 40)	1(8 5 40)

		見物するところがない		1(8 7 56)
		旅行先のマンネリ化		1(8 7 56)
		観光地がきまっている		1(5 9 45)
34期待がはずれる	0 対象要素を特定化せず	期待はずれ	1(2 7 14)	
		期待がはずれる	1(8 7 56)	
		話ほどでもない	1(2 5 10)	
		思ったよりもつまらない		1(9 9 81)
		自分の考えていたことよりだいぶちがう		1(6 5 30)
		思ったよりもおもしろい事がない		1(4 3 12)
		イメージと大きく違う場合		1(8 9 72)
		イメージと大きく違う場合がある		1(7 5 35)
		パンフレットのように美しくない		1(10 10 100)
		パンフレットの内容よりおちる	1(10 9 90)	
		旅行案内書と違う		1(5 6 30)
		調べた資料と実際が違う時		1(7 6 42)
		宣伝よりおとっていること	1(10 5 50)	
	観光目的が達成できない		1(10 1 10)	
	目的をまったくかなえられなかった時	1(10 2 20)		
	気持ちに対するうらざり		1(10 9 90)	
	欲求不満	1(5 3 15)		
	あとで何も残らなかった		1(10 3 30)	
	満足感がまず得られない		1(8 7 56)	
	いい写真がとれなかった		1(10 2 20)	
5 観光地	観光地に対する理解があさ		1(10 3 30)	
	いい場所だと思っていたが実際はよくない		1(8 6 48)	
	理想通りの場所ではない	1(9 4 36)		
	思っていたイメージとちがった場所の時	1(7 2 14)		
	観光地が思っていたこととの相違		1(10 5 50)	
	思っていた所とちがった		1(10 5 50)	
	その土地の悪い所を見る		1(9 5 45)	
		その地方の短所がわかる	1(2 5 10)	